

「人」と「人」が交わるフリーマガジン

KRPPRESS 3

2012
vol.123
MARCH

特集

感性を刺激し、創造力をかきたてる
オーラを発する交流空間
KRP町家スタジオ



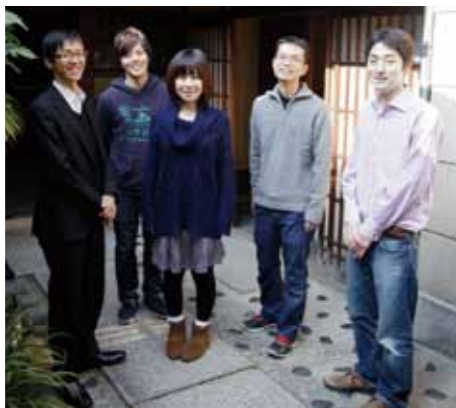
KRP

(左から) 月世界旅行社 代表・映画監督 片岡 大樹 氏 株式会社 paperboy&co. おこしやす! プロジェクト担当 今岡 佐知子 氏
NOTA Inc. 出口 賢 氏 NOTA Inc. 代表取締役 洛西 一周 氏 KRP町家スタジオ 館長 田中 裕也 氏



感性を刺激し 創造力をかきたてる オーラを発する交流空間

京都リサーチパーク町家スタジオは、京町家の歴史を刻んだ本物だけがもつ、圧倒的な空間の迫力を持っています。様々な人・物・事が交差するビジネスシーン創造スペースとして始まりました。1階は毎月の町家交流会を始め、セミナーや展示会、映画上映と様々な催しに対応。2階は貸しオフィスとなっています。我々が日本人であることを自覚し、リラックスする中で、時間や空間を超えた閃きも生まれます。そんな空間に魅せられて集まってきた方々をご紹介します。



図書館の蔵書検索サービス「カーリル」(callil.jp)の紹介をする洛西さん(右)と出口さん(左)



シリコンバレーで2007年に起業後、この町家スタジオに拠点を移した。洛西一周さんを代表取締役とするNOTAは便利で楽しいウェブサービスの提供を心がける新々鋭のITベンチャーだ。業種柄開発環境としてのオフィスは重要である。「開発という観点から言えば、この環境はとても良いですね。落ち着いて仕事ができる上に、人との接点も豊富。完全個室のオフィスとは大きく違いますね。」と洛西さん。同朋でありプログラマーである出口さんもまた「館長さんが紹介してくれる様々な業種の方々との出会いは楽しく、とても刺激になります。」と語る。そんなコミュニティ性は彼らが町家スタジオを選んだ大きな理由だ。
近年NOTAが開発したのが「カーリル」。日本最大の図書館蔵書検索サイトで全国5800以上の図書館から書籍とその貸し出し状況が検索できる。「カーリル」の特徴は、その規模、利便さはもとより、これまでの図書館検索サイトには無かった書籍コメントやポップなインターフェイスで、サイトを通じた「コミュニティ」を創出を意識していることだ。毎月開かれる町家BARで、出合いの場作りにも力を入れる彼らだけに、サービスの一つにも人のつながりや出会いそして「コミュニティ」を大切に考えている暖かさが滲んでいる。



paperboy&co.

<http://www.paperboy.co.jp/>

レンタルサーバーのロリポップ！などインターネット関連サービスで知られるpaperboy&co.が、おこしやす！プロジェクトを立ち上げ、町家スタジオに開発拠点を構えたのは昨年の11月。「人の輪の広がりが濃く、京都独特のものを感じます。また、この町家スタジオは多くの方が出入りし、わざわざ外に行かなくても人との繋がりが生まれるんです。ここに拠点を構えて正解だったとつくづく思えるポイントです。」そう話すのは、おこしやす！プロジェクト担当の今岡佐知子さん。「当初は1人でやらなくてはという気負いがありました。でも、この雰囲気は救われています。だって襖1枚開けたら他社さんのオフィス。このカジュアルさは他にないのですよ。家に帰ってきたみたいと来客の方々にも好評です。」
paperboy&co.の京都スタジオの大きな目的の一つが、京都の学生を中心とした意欲的な人材の発掘だ。学生が自らサービスを作り上げて起業するケースが多いと東京でもよく耳にした、そんな京都の学生のトピックにも惹かれたという。「会社が大きくなると東京へという流れが一般的ですが、私たちはこの町家から、京都発の新しいサービスを発信していきたい。京都には十分なポテンシャルがあると思うんです。そうして一緒に京都を盛り上げていきたいです。」と意欲を見せる今岡さん。京町家独特の底冷えにもめげず、当面の第一目標である人材獲得に向けて奔走中だ。

襖1枚開けたら他社さんのオフィス。
このカジュアルな雰囲気が良いですね。



「オフィスから出る時はNOTAさんのオフィスを通らないといけません。邪魔にならないよう気配を殺してそっと歩きます(笑)」と笑顔の今岡さん。



町家スタジオにこの人あり。
コーディネーターとしても活躍する名物館長。

様々なイベントやセミナーに赴き、持ち前の人柄で町家スタジオのPRをする館長の田中裕也さん。昨年4月の就任から、入居企業を中心に人同士を結びつけ、どんどん人の輪を広げてきた。「企業や人に合わせて何でもできるのが町家スタジオです。僕もお手伝いしますので、一緒になって町家スタジオ発の企画を作り上げて行きたいですね。ぜひ一度遊びに来てください。」



集・交・創

ご入居企業さまが京都を、ひいては町家スタジオを選ばれた理由は様々ですが、共通するのは人とのつながりに価値を見いだしている点です。私たちKRPが、この一棟の町家に込めたのは、京都だからこその交流空間の在り方です。KRPの思想の一つである「集交創」を、歴史の風格と趣のなかに表現した場所、それが「町家スタジオ」です。また、オフィススペースと共に、会議や交流会スペースとしてKRP地区内外の企業さまにもご利用頂いています。いつもとは少し違う趣とひらめきが生まれる和室でのミーティング。京都らしさを強調した「おもてなし」でお客様を迎えられてはいかがでしょう。これからも、この人のつながりが密な京都を感じて頂ける、人のプラットフォームとして、皆さんと一緒に町家スタジオを盛り上げていきたいと考えています。



※8Pにアクセス・ご利用案内を掲載しています。
ご利用案内 / <http://www.krp-machiya.co.jp/guide/>

京都発 平成生まれの映画製作上映集団

月世界旅行社

会場は町家スタジオの大広間。
学生が主催するオールナイト上映会。



結成は2010年。当初は各地方をサーカス団のように自主映画を上映してまわり、時にはバンド+上映や、1日映画撮影体験、いなか宿泊ツアー+上映など、趣向をこらした活動を行ってきた。「巡業を通じて気づいたのは、生のコミュニケーションがとても重要だということです。それがここ町家スタジオでのオールナイト上映会『マチャ映画夜行』につながったのですが、想像以上にコミュニケーションの場としての価値が生まれてきていますね。」と代表の片岡大樹さん。客層は映画関係の学生からプロの映像関係者、映画祭の企画者等多彩。開催場所となるのは、彼らの拠点ともなっている町家スタジオの大広間だ。上映の合間にたっぷり

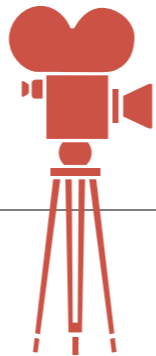


と設けられたフリータイムが特徴的で、そこで交わされる映画談義は夜が更けるにつれ、盛り上がり、新たな企画の礎となる。「斜陽産業といわれる映画業界を変えるきっかけを京都でつくりたい『ここに来れば何かある』そう思える映画界の新しいプラットフォームを作り、僕ら若者から映画産業の未来を変えていきたいですね。」かつて日本のハリウッド

と言われた京都から仕掛けることにも意義を見出し、町家の京都らしさ、また独特の会話が弾む空気感に彼らが目指す映画の在り方に欠かせないものとなっている。

月世界旅行社 代表・映画監督 片岡 大樹 氏

京都造形芸術大学の映画学科に在籍する学生7人が、映画製作から配給、上映までを一手に行う。2010年にはTジョイ京都で劇場デビューを飾る。町家スタジオに拠点を構え、その意欲的な活動に注目が集まる。



MOVIDA JAPANの孫 泰蔵氏から学ぶ

THINK BIG!!

小さくまとまるな！世界にチャレンジせよ！孫泰蔵氏トーク座談会開催

開催日：2011年12月9日（金）13:00～15:30 会場：KRP町家スタジオ
主催：京都リサーチパーク（株） 共催：MOVIDA Communications（株）



KRP町家スタジオ
トーク座談会

大きく考えろ！これこそが成功のカギ。 Yahoo! Japan 創設者が紡ぎ出した、アントレプレナー論。

「どうせならデカくもの事を考えた方が成功する！」
第一線で活躍されている孫氏が、自身の体験談を通して、世界視点での考え方、発想法を伝授。KRP町家スタジオでのひざづめ談義スタイルで、起業を目指す若い人たちへ、熱いエールが送られた。



「今回は時間的に余裕があるので、少々長引いても良いです。とにかく話したいことがたくさんあるし、できるだけ質問にも答えたい。早口で喋っていきます(笑)」と話し始め、孫氏は次から次へと話題を発展させていく。「THINK BIG」という今回のテーマに話が及んだのは、開始から1時間が過ぎた頃のことだった。

「テーマにした大きな考え方というのは、起業における成功のカギなんです。どうせやるならデカくもの事を考えてほしい。その方が成功の可能性は高まります。」と孫氏はサグラダ・ファミリアを引き合いに出す。100年以上を費やしても、未だ完成しないガウディの偉大な建築構想がどれだけの人を魅了するのかを力説する。「入場料の4千円払って見学するのは、工事現場ですよ(笑)。でも見学を終えた僕はその偉大な構想に感動して結局2万円寄付したんです。大きな考えは、人を魅了する力がある。どうせやるなら大きく考えましょうよ。」と言いつつも、大きくもの事を考え続けるのは、実はとても難しいことだと孫氏は強調する。「やっているうちに壁にぶち当たって、小じんまりしてしまうんですよ。だから、アメリカでは『お前は大きく考えてるな』というのは褒め言葉として使われる。成功者は大きく考えることの難しさを解かっているんですね。」と孫氏。では、世に知られるアントレプレナーは、そんな壁をどう克服してきたのだろうか。



「楽観的な気持ちを抱けるほどの境地。もうこれ以上はやれない、ここまでやって失敗しても仕方がない境地に達した経験のある人っていませんか？意外といないんですね。成り行きを楽観視できるほどやり尽くすのは本当に難しいことなんです。」自ら起業し、たくさんの偉大な起業家に会い、気づいたのは、皆が共通して楽観的な視野を持っていることだったという。不安や心配は限りがない。だが、それすらも気にならなくなるほど追求することこそが、壁をものともせず、大きくもの事を考え続けられる源となるというのだ。「そうすると、仕事だけでなく人生自体に、ものすごい満足感が生まれてくるんですよ。僕はそんな人生の楽しみ方があることを皆さんに伝えたくて、今日ここにいるんです。」

『難しく考えずに、人生をより楽しむために起業してほしい。そこで必要なのが方法や論理でなく、大きな視野を抱き続けるために全力で起業と向き合うこと。』である、と展開された起業論はとてもシンプル。そこに実体験に裏付けられた説得力と孫氏の人柄が相まって、明日からでも行動を起こしたくなるような扇動力に溢れていた。この日KRP町家スタジオに集まった若者はいずれ、歴史と創造性が融合するこの京都で起業し、世界へと飛び出すことになるかもしれない。孫氏の紡ぎ出す言葉の1つ1つが若い世代を勇気づけ、12月の寒ささえ忘れさせるほど会場を熱気に包んでいた。

OTHER EVENT

町家スタジオでは、様々なイベントを開催しています。その一部をご紹介します!!

モノポリーライトin京都



概要 / ボードゲーム「モノポリー」を活用し、楽しみながら交渉テクニックを磨いています。月1回の定期開催。英語deモノポリーや、学生対抗モノポリーなど、様々なシーンに合わせたゲームを展開しています。

主催 / 日本モノポリー協会
URL / <http://monopoly-championship.jp/night/index.html>

京都フィルムメーカーズラボ



概要 / 国内外から映画制作にたずさわる若手人材を選抜し、京都の映画資産を活用して映画製作の現場を体験しながら交流。町家スタジオでは交流会場としてミーティングなどが行われた。

主催 / 京都若手才能育成ラボ実行委員会
URL / <http://www.kyotofilmakerslab.com/ja/generalinfo/>

CollegeCafe



概要 / 「つながる。大学、学部、学年を超えて」を合言葉に、国際協力、環境問題などをテーマに、学生や院生、専門学校生が議論できる新しい学びの場を創りたい!という思いから立ち上がった学生団体。

主催 / 龍谷大学生 山川 勝弘さん
URL / <http://www.facebook.com/collegecafe.kyoto>

Life Story Design Lab



概要 / ひとりひとりの「生活」と「ものがたり」をきっかけとして、既存の価値観を振り下ろし、これからの社会のあり方と、自分たちの生き方を考えていくのが、このラボのコンセプト。

主催 / Life Story Design Lab 共同代表 立命館大学生 柳瀬 顕さん
URL / <http://lifestorydesignlab.blogspot.com/>

まなび∞(むげんだい)カフェ



概要 / 性別・年齢・立場をこえた人が対話することで、「発見」という名の「まなび」をどんどん生みだしていく場所。

主催 / 任意団体できるやいたい。NEW DEKIRU 代表 吉田 美奈子さん
URL / <http://newdekiru.exblog.jp/>

センターのネットワークと担当者のトータルサポートで 中小企業の研究開発をスピードアップ

平成23年度にスタートした京都府中小企業技術センター（以下センター）の「企業連携技術開発支援事業」は、今年度3テーマが採択され、企業コンソーシアム形式で技術開発が進められている。これまでは1テーマに対し複数のセンター職員で対応していたが、この事業では、担当となった職員が一人でテーマの全体像、必要技術、市場を把握し、さらにコーディネーターとして一貫して関わる方式だ。これがこの支援事業の最大の特徴で、研究開発のスピードアップを狙っている。「私たち職員は、技術の理解は当然ですが、企業や人を結びつけるには、企業の代表や研究者の“人となり”を知った上でコーディネートするのがとても大事です。」と話すのは、センター応用技術課 電気・電子担当の桶谷さん。

採択テーマの一つである「次世代スキャナ技術とLED技術の融合による環境対応型バーチャル・ウィンドウの開発」の主幹企業のニューリー（株）代表取締役社長 井田氏によると「自社にない技術を



（左から）京都府中小企業技術センター 企画連携課 松田氏 応用技術課 桶谷氏
ニューリー（株） 井田社長

自社だけで時間をかけて解決（開発）しては、スピードについていきません。でも、その必要な技術がどこにあるか判らなかつたり、いざお会いするにも相手企業の方の人となりや、企業規模の差を意識したりもします。職員さんの引き合わせは助かりますね。コラボが成功すると劇的に開発スピードが上がります。それに職員さんを中心とした出会いの場もあって、開発後の販路開拓の話にまで発展しています。」とのこと。

センターの研究交流棟（1階）には「企業連携技術開発室」が設けられ開発ゾーンのほか、会議・交流ゾーンがある。IT利用が急進しても、やはり顔と顔を合わせる場が必要なようだ。センター企画連携課 課長松田氏は、「なにより開発のスピードアップを期待しています。加えてセンターの持つネットワークを活かし、市場開拓のお手伝いもできれば嬉しいですね。」と想いを語った。平成24年度も3テーマのサポートが予定されている。詳しくは京都府中小企業技術センターまで。

●京都府中小企業技術センター 京都府産業支援センター3F
企画連携課 [TEL] 075-315-9506



ニューリー（株）の次世代スキャナ技術と星和電機（株）のLED技術の融合による開発を進めている「バーチャル・ウィンドウ」。壁に掛けるだけで窓ができ、柔らかな明かりと開放感を部屋に与える。

「東日本大震災復興支援特別企画」 ～手を繋ごう、杜の都と京の都～懇談会

倒れても必ず起き上がるカップのように、東北も必ず立ち直る!

京都市などが主催する「東日本大震災復興支援特別企画」への東北関係者側の参加者をKRP地区に招き、12月8日懇談会が開催された。東北関係者側の皆様の復興への強い意思と、いち早く支援サービスを行っているKRP地区入居企業の復興支援への強い想いが感じられた。

2011年12月8日17:00～東北関係者の皆様をお迎えした懇談会がKRP1号館2階サイエンスセンタークラブで開催された。この懇談会は、同日KRP地区で京都市他の主催による「東日本大震災復興支援特別企画」～手を繋ごう、杜の都と京の都～への東北関係者側の参加者によびかけ、KRP（株）が設けたものだ。KRP地区の中で東日本大震災の被災地区に向けた支援サービスを立ち上げている企業の想いを届け、復興に向けたお手伝いのヒントを頂く場として、セッティングされた。



KRP入居企業の中

には震災当初から支援サービスを立ち上げている企業も多く、その代表としてプレゼンをしたのは、(有)セクレタリー・オフィス・サービス、(株)paparboy&co、(有)エイチアイトラベル、(株)イー・エージェンシー、(株)フューチャースピリッツ、(株)ゴビ、そして京都市サーチパーク（株）の7社。KRP入居企業に多いIT系のサービスのほか旅行代理店、Tシャツ販売によるチャリティーなど多岐に渡った。

一方、東北関係者側からは、東北大学大学院教授 堀切川一男氏から自身がプロデュースした、倒れてもこぼれないホッケーのジャンカップ（詳しくは<http://www.ewintec.com/ceramic/jancup/>）が紹介され、復興への強い意志とお礼の辞が述べられた。参加メンバーはこの後開催された、KRPクリスマスパーティに参加し、更に多彩な入居企業との交流を深めた。



東北大学大学院 工学研究科 教授
堀切川一男氏



株式会社TOEZ京都
代表取締役社長
小林 忠嗣氏
(8号館2F)

京都大学工学部卒業後、島津製作所に入社。その後、家業を継ぎ、38歳の頃にコンサルティング会社を設立。数年前から塾の経営を手がけ、その折に中島真紀氏と出会い、2011年2月に東京にて株式会社TOEZを設立。東京を中心にTOEベビーパークを展開する。2011年9月にTOEZ京都を設立。現在四条烏丸教室が開校し、近々7教室が関西にて開校予定。

この教育を日本に普及させるのは 私の社会的使命だと思っています。

驚かれるかもしれませんが、考える力・創造する力・解決する力などが身に付いた本当の意味での「頭の良い子」を育てるには0～3歳までの環境で80%が決まってしまうんです。この0～3歳は臨界期と呼ばれ、人間の脳の基礎・基盤が形成されます。この時期のお子さんに良い環境を与えられれば、後々勉強もでき、気持ちや感情の豊かな大人になるんです。この年齢のお子さんと「理想的な接し方」をご両親、特に接する時間の長いお母様にご提供するのが当社のTOEベビーパークです。

私は数年前、京都の桂で塾を経営していた時に、勉強の量と成績が比例

しない生徒がいることを不思議に思っていたんです。そんな時に横浜で近隣のお母様に、お子さんのIQを高める育て方を指導してられる中島真紀先生に出会いました。中島先生の教える大抵のお子さんのIQが130～140と高い数値を記録されているんですよ。中には190なんてお子さんもいたりして、有名大学に入学する学生も沢山でいるわけです。

中島先生の教室のほとんどのお子さんのIQが高いことは衝撃的で、瞬時にこの教育プログラムを広めることが私の社会的使命だと感じました。なぜかと言いますと、日本では少子化が叫ばれていますよね。BRICSの成長は豊富な人口に支えられています。一方で、日本は少子化で人口を背景にした経済成長は望めません。ではどうするか？知恵や創造力で勝負するしかないんです。そのために頭のいい人間（お子さん）をどんどん育てることしかないと思ったんです。1人1人の能（脳）力を向上させ得るこの教育プログラムを日本に普及させることこそが国際競争力を増すことだと考えたわけです。だからこそこの会社を立ち上げ、昨年は東京を中心に50以上の教室を開校しました。もう60歳も越えて引退しても良い身なんですけれども（笑）。

当社の生徒さんは、お子さんと多くの時間を過ごされるお母様です。受講・体験いただいたお母様方からは、子どものことが理解でき、子どもに対して怒ることも少なくなったなどのお声もいただきます。私自身も孫への接し方が変わりました。娘にはおじいちゃんが優しくなった、とよく言われます。

首都圏での受講状況は非常に好調です。首都圏の次に京都を選んだ理由は、ずっと京都で仕事をしてきたことです。KRPさんのことは以前からよく知っていて活動の拠点に選びました。TOEZの教育は日本の将来に必ず貢献するものだと自負しています。まずは、関西で近々開設を予定している7つの教室の実績を伸ばしたいですね。

アルプス技研は、1968年に開業した「松井設計事務所」にその端を発します。創業者松井利夫の「ものづくり」に賭けた熱い思いとあくなき探究心は、現在も当社エンジニアに受け継がれています。私たちは、電気・機械・化学・情報等の専門的技術を用いて、お客様の「ニーズ」や「課題」を共に解決するという姿勢を大事にしています。技術は必ず答えが見つかるもの、しかし、そこに辿り付くまでの道筋は決して単調なものではありません。共に悩み、共に苦しむ提案型の物づくりを提供致します。

【業務内容】受託設計（開発、設計、試作、製造、評価）、技術者派遣業務

株式会社アルプス技研 ●TEL/075-325-1901 ●FAX/075-325-1902
牛嶋 素一 代表取締役社長 ●URL/ <http://www.alpsgiken.co.jp/>



サークル活動で企業の枠を超えた仲間づくりを!

2010年から始まった「東ねる」サービスの1つであるサークル活動サポートサービスでは、2012年度サポートを希望されるサークルを募集しました。2011年度は、7つのサークルが地区内で活動されてきました。活動内容は様々で、9号館の屋上を利用した「菜園サークル」や趣味を共有する「手芸サークル」、「テニスサークル」。スキルアップを共に楽しみながら学びあう「英会話サークル」や「中国語サークル」などなど。

「同じ職場だけでなく、違う職場の人との交流も楽しめる」そんな素敵な出会いの場を、2012年度もKRPが応援させていただきます。活動サポートに関しましては募集を締め切りましたが、会員募集サポートは随時受け付けております。是非、KRP地区内で企業の枠を超えた仲間づくりにお役立て下さい!

会員募集サポート

概要/サークル会員募集内容を弊社ホームページ、メールマガジン、地区内掲示板に掲載・配信いたします。
期間/掲載は6ヶ月間を目処といたします。翌年度、掲載を希望される場合は、改めて申請が必要になります。
決定通知/事務局が審査の上、採択されたサークルを弊社ホームページにて公表いたします。
*審査基準等、詳しくはホームページ (<http://www.krp.co.jp/tabanner/circle>)、チラシをご覧ください。
お問い合わせ先/京都市サーチパーク（株） 営業開発部
Tel:075-315-8342 Fax:075-322-5348 E-mail: tabanner@krp.co.jp





「水と共につながる、いのち。」を遊びながら学ぶ 「京都水族館」がいよいよ3月14日梅小路公園内にオープン!

いよいよ京都市に初めての本格的な水族館「京都水族館」が3月14日オープンします。海から離れた京都市に水族館と聞いても、ピンとこない方も多いのではないかと思います。三方を山に囲まれた京都盆地は鴨川を始め、10の一級河川が流れる山紫水明の地です。京都は古くからそれらの河川とともに歴史を重ねてきた、実は水と縁の関わりが深い土地なのです。山々に降った雨が、湧き水となり、小川になって、やがて大きな川となって海に流れこむ。京都水族館では、そんな源流から海にいたるつながりと、多くのいのちが共生する生態系を再現しています。そしてもうひとつ特徴的なのが、展示だけにとどまらず、遊びながら学ぶ「ふれあい」や、飼育員による解

説など、子どもたちが水とそこに棲む生きものたちと親しめる工夫がたくさんされていることです。また太陽光発電で消費電力をおさえたり、京都の希少動物の繁殖をサポートするなど、環境モデル都市京都にふさわしい配慮もされています。施設は日本の海の様々な魚と出会う「大水槽」やオットセイなどの海獣と出会う「かいじゅうゾーン」、オオサンショウウオなど京都の川に棲む生きものと出会う「京の川ゾーン」、1,000人以上収容可能な「イルカスタジアム」など見所満載!近くには梅小路公園や梅小路蒸気機関車館もあり、子どもたちには大満足のスポットとなりそうです。ぜひご家族でお出かけになってみてはいかがでしょうか。



●大水槽



●イルカスタジアム



営業時間/9:00~17:00 (年中無休)
※最終入場は1時間前・施設点検等で臨時休業あり
アクセス/京都駅中央出口より西へ徒歩約15分 (バスもあります)
※専用駐車場はございませんので公共交通機関をご利用下さい。

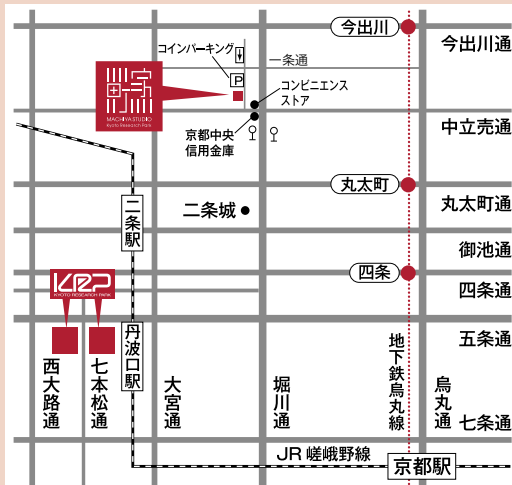
<http://www.kyoto-aquarium.com>

KRP町家スタジオ/アクセス・一般貸出・ご利用案内

住所
〒602-8233 京都市上京区葎屋町通中立売上る福大明神町128

アクセス
●JR京都駅から市バス(9系統・快速9系統・50系統)堀川中立売下車 徒歩1分
●地下鉄烏丸線今出川から徒歩20分・丸太町より徒歩25分
●KRP地区よりタクシーで約15分

駐車場
駐車場はございません。できるだけ電車・バスを利用してお越し下さい。お車の方は近くのコインパーキングをご利用下さい。近隣の民家にご迷惑を掛けないようご協力をお願いします。



使用時間 9時~19時
(準備片付けも利用時間に含まれます)
※19時以降の夜間利用はご相談下さい。

休館日 不定休
※ご希望にあわせて開館します。
※年末年始、ゴールデンウィーク、お盆等は休館しております。

申込受付 毎月1日(土日祝の場合は翌営業日)に翌月末までを受付ます。
※受付対応は平日10時~17時までとなります。お問い合わせはこの時間内にご連絡下さい。

申込方法
1.電話【075-432-8063】か、ホームページ【広間・ギャラリーご利用申し込み】より空き状況をお問い合わせ下さい。 URL/https://business.form-mailer.jp/fms/529f79951232
2.空き状況を確認の上、担当者よりご連絡します。
3.料金、利用時間、利用規約をご確認の上、正式予約をお願いします。

変更・キャンセルについて
ご予約の変更は速やかにお電話でご連絡下さい。
2日~7日前30%、前日50%、当日100%のキャンセル料金が発生します。

場所	1時間当り	終日(9時~17時)	定員
大広間(20畳)	3,000円	15,000円	口の字型26名、座布団のみ40名
MTGルーム(8畳)	2,000円	10,000円	口の字型6名(フーリング・椅子)
1階全体	5,000円	25,000円	大広間・MTGルーム・ギャラリー
ギャラリー(約30㎡)	50,000円(一週間、搬入搬出込み)		展示板サイズ縦2.1m×横3.4m

※ギャラリーをセミナー等の目的で利用する場合の使用料は大広間に準じます。
※展示作品に関しては事前に審査させて頂きお断りさせて頂く場合がありますのでご了承下さい。
※使用料には各部屋に備え付けられている机、座布団、椅子、無線LAN、食器類の利用が含まれます。
※プロジェクタ(スクリーン含む)は1回5,000円で貸し出します。
※17時以降のご利用は時間単価を頂戴致します。
※交流会や飲食でのご利用は1階全体貸しとなります。
※KRP入居企業様は上記金額の30%引きです。

使用料金のお支払い
当日現金、もしくは会議終了後に請求書を送付致しますので、銀行振込でお支払い下さい。

その他
初めてのご利用の場合、企業(団体)概要をご提出下さい。
料金および利用規約は変更する場合がございますのでご了承下さい。

編集後記 古いものが人を魅了するのか、はたまた若者にとってはかえって新しく感じるのか、いずれにしても町家スタジオではそこに集う人々の心が自然と開かれるような、そんな気がします。煮詰まってしまった議論もここに場所を移せば、新しいアイデアがきっと湧き上がることでしょう。皆さん、町家スタジオをぜひ活用してください。それにしてもこんなサードスペースがもっと身近にあったらなあ・・・いや少し離れているのがいいのかも。

配送・停止・変更のご希望は、右記内容を明記の上 press@krp.co.jpへ

配送	① 〒、住所 ② 団体名 ③ 部署名 ④ お名前 ⑤ TEL/FAX ⑥ メールアドレス ⑦ 「配送希望」 ※定期配送も可能です
停止	⑧ ご登録No.(封筒宛名ラベル右下) ⑨ 「配送停止希望」
変更	①~⑥のうち変更箇所と⑧のご登録No.